

No.212

晃の園での暮らしの様子をお伝えします

ひかり その

晃の園だより



今年も春は裏山から来ました





春を味わいませんか

テレビで高い気温や桜の開花の話題がよく取り上げられる今日この頃。案外そんなところから季節の移り変わりを感じる方も多いかもしれません。

とはいえ、窓を開けて受ける陽射しの暖かさや、外に出て花壇の花や木々の新緑を目の当たりにすることで感じる“リアルな春”にかなうものはありません。



そんなリアルな春の中に身を置けば、なんてことのない日常の会話も楽しさが倍増すること請け合いです。

大げさな外出やイベントでなくても、ちょっとした時間だけでいいのです。あの人を誘って、ちょっと窓を開けて、バルコニーに出て…せつかくの春を存分に楽しみましょう。

園長交代の挨拶

この度、平成 31 年 4 月 1 日付で、特別養護老人ホーム晃の園、晃の園ショートステイの園長を拝命いたしました杉山結子（すぎやまゆうこ）と申します。社会福祉法人駿河会に入職してからの 22 年、そして晃の園での統括部長職 18 年の経験を活かし、この歴史ある晃の園を、今までもそしてこれからも支えてくださる皆さま方のお力と共に、職員一同精進し、最善を尽くして参る所存です。今後とも、よろしくお願い申し上げます。



春からの 生活相談員 新体制

いつでもお気軽に
お声かけください

晃の園
生活相談員
佐野貴之
(樫・新樹)

晃の園
主任生活相談員
川崎誠之

晃の園
生活相談員
高井美千代
(清響)

ショートステイ
生活相談員
長島弘樹



交代しました

交代しました



春の新社会人

今年は7名が仲間に加わりました



手塚舞菜
紅ユニット

望月亜純
黄薬ユニット

前田晴香
もえぎユニット

朝比奈優紀
常盤ユニット

鈴木俊也
縹ユニット

佐々木優太
曙ユニット

森下大知
ひなげしユニット



こつこつ防災

こつこつが
成功のこつ

晃の園災害対策委員会の紹介

晃の園では各ユニットに災害対策委員を配置しており、毎月の会議や、被災時の避難方法・介護方法などの訓練を通してマニュアル化、そして見直しを行っています。今後も災害時に入居者、職員の生命を守るため、日々精進してまいります。

これら災害対策委員会の取り組みは、園便りを通じて継続的に紹介していきます。どうぞご覧ください。



普段の生活から

私たちの暮らしは、なにげない毎日の積み重ねでできています



高校野球が大好きな入居者様。甲子園の時期には自然と話が盛り上がります。そんな入居者様が最近楽しまれているのが、キャッチボール。素敵な笑顔を見せてくださいます。



陽の当たる小上がりで寛ぐお二人。日差しに包まれニコニコされている様子を見ると、こちらまで笑顔になれました。春分も過ぎ、暖かい日も増えました。もうすぐ春ですね。



2月なのに気温がぐんぐんと上昇して20度近くになりました。いつもは冷たく感じる外の作業も、こんな日は気持ちよくて自然と笑顔になれます。春が待ち遠しい今日この頃です。

晃の園ショートステイ通信 A



午後の過ごし方

ある日の午後、一人の利用者様が始めた塗り絵は、やがて同じ机の皆様の活動へと変化していました。また別の日には、利用者様のテーブルでカルタ遊びが始まり、賑わいを見せていました。利用者様同士での交流が、ショートステイご利用中の時間をより豊かにしてくれます。



月替わり、食事イベント

晃の園ショートステイでは、毎月食事に関するイベントを開催しています。特定の日のみの開催ではありますが、普段とは違う雰囲気と内容で楽しんでいただいています。

1月：お鍋いろいろ

2月：作って楽しむホットケーキ

3月：お寿司



編集後記：17年間お世話になりました

平成14年から園だよりの編集に携わり、気が付けば17年の間に94回の発行に立ち会うことが出来ました。ふた月に一度容赦なく迫りくる締め切りに、悪戦苦闘の連続でしたが、自分なりのこだわりも貫くことができたので、それなりの達成感も味合っています。それにしても、仕事とはいえここまで続けてくるのが出来たのは、結局は晃の園だよりの編集自体を、私自身も楽しんでいたのでなあとつくづく思う次第です。

この春の職場内での異動に伴い、園だよりの編集作業から離れることになりました。奇しくもイチローの引退と時期が重なったので『お互いによく頑張ったものだ』と勝手に感慨にふけたりしています。これまでご理解・ご協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。

晃の園だより編集長 宮地俊博